国際ロータリー第2590地区　創立1993. 2. 19　2026. 10. 22　VOL. 33　No. 14　1491

Kawasaki Marine Rotary Club

2026-27年度 RI会長のメッセージ



2026-2027年度 RI会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ

例　会　毎週木曜日12:30
例会場　煌蘭　ダイスビル６Ｆ
TEL：044-245-0018
事務局　〒210-0004　川崎市川崎区大島1-26-13-1F
TEL：044-200-9249　FAX：044-200-9252
E-mail marin-rc@eagle.ocn.ne.jp


会長
山﨑美津夫


副会長
瀧口 幹子


幹事
石田　生

★司会　小松崎 彩子 会員
★点鐘　山﨑 美津夫 会長
★ロータリーソング クラブソング「笑顔の集い」♪
指揮者：中條藝立 会員　　ピアノ：野口四郎 会員

卓話者及びゲスト紹介

山﨑美津夫 会長


神奈川県立川崎高等学校
教頭　福士徹也 様


川崎市立橘高等学校
教頭　杉山美佳 様


川崎市立高津高等学校
教頭　斎藤康子 様


神奈川県立川崎高等学校
荒谷孔之輔 様


川崎市立高津高等学校
鈴木瑛斗 様

ビジター紹介


横浜緑ロータリークラブ
会長　齋藤光宏 様

「本日は地区大会のキャラバン隊として参りました。登録率100%でご連絡をいただいておりますので是非とも皆さんにご出席していただき出席率100%にしていただきたい。当日会場で皆さんにお会いすることを楽しみにしております。」と齋藤会長が地区大会の見所を含めPRをした。

入会式

㈱トータルオフィスサポート 代表取締役 西山浩司新会員を伊藤恒満会員のご紹介でお迎えした。
職業分類は「OA機器販売業」。
「みなさま、よろしくお願いいたします」と西山新会員。





ご入会おめでとうございます
川崎マリーンロータリークラブは32名になりました。

出席報告

松本　勝明 会員

会員数	出席率該当者	出席者	欠席者	ホームクラブ出席率	メークアップ	修正出席率
32	28	22	6	78.57	2	92.86

（備考）　本日より当クラブの正会員は32名となりました。

会長報告

山﨑美津夫 会長

1. 10月20日に「7クラブ親睦ゴルフ大会」の報告。
当クラブの松本会員が優勝した。
2. 富津シティRCさんより「親睦研修旅行」のお誘い。
日にちが11月18日～19日の1泊2日であいにく18日は3クラブ合同親睦夜間例会の開催日のため、参加を断念。
3. 富津シティRCさんより8月に表敬訪問した際に千葉県豪雨災害への義援金支援の件で御礼と送金の報告。
4. 地区より今年度地区大会の決議案3件の連絡。
①2025-26地区資金本会計、特別会計の決算報告及びロータリー財団地区活動資金利用状況報告
②RID2590地区資金取扱規定案
③ガバナー補佐の選考、任命に関する規定案
※①全員決議案、②③選挙人による決議案
詳細は事務局よりメールが配信されている。
5. 例会会場「煌蘭」の駐車サービス券の発券が来月より変更。これまで2枚発券されていたが11月より1枚。

幹事報告

石田　　生 幹事

1.「2026学年度米山カウンセラー研修会」に瀧口副会長が本日10月22日に出席。
2. 次回からの予定
○ 29日　公益財団法人かわさき市民活動センター
課長 中村様による卓話

11月
○ 5日　社会福祉法人 青丘社 日中一時支援「そら」
管理者古川様による卓話
○14日　地区大会
例年同様にクラブにて短時間の例会を開催
点鐘11時45分
場所 パシフィコ横浜 クラブ受付付近
○18日　3クラブ夜間移動例会
受付18時～ 点鐘18時30分
場所 川崎日航ホテル
≪水辺の楽校≫
○11月3日、21日 開催予定。
※11月の出欠の回答をお願いします。

委 員 会 報 告

●奉仕プロジェクト委員会　　増田(敏)委員長

川崎マリーンロータリークラブ旗争奪川崎区学童軟式野球大会が開催される。
お時間のある方はご出席ください。

川崎マリーンロータリークラブ旗争奪
第19回川崎区学童軟式野球大会 新人戦のご案内

開　会　式:10月25日(日)8時～
大会日程:10月25日(日)、11月1日(日)、3日(祭)、7日(土)
予　備　日:11月8日(日)、14日(土)
閉　会　式:11月7日(土)10時30分頃～
場　　所:大師少年球場







※10月25日(日)開会式の様子

●親睦活動委員会　　茶谷委員長

10月29日(木)親睦定例会・西山新会員歓迎会
皆様のご参加をお待ちしております。
日時：10月29日(木)　18時30分～
場所：シーハーズ

11月6日(金)釣り大会・懇親会
懇親会では髙山会員の「ことぶき寿司」にて当日釣れた鮮魚をご賞味いただく予定。
日時：11月6日(金)　7時30分釣船出航
　　車の方は6時30分までに集合
　　電車の方は7時まで集合
場所：金沢八景「黒川丸」
担当：親睦活動委員会

米 一 合 運 動

本日の米一合運動は76合の精米が集まりました。
皆様ご協力ありがとうございました。
今後とも、ご協力をお願いいたします。

ニコニコボックス

瀧口　幹子　副会長

★横浜緑ロータリクラブ　　会長　齋藤光宏 様
本日は地区大会キャラバン隊の一員として見どころご紹介で参りました。よろしくお願い申し上げます。

◆髙山会員
指が不自由になりましたがお見舞いありがとうございました。

◆松本会員
西山浩司様、入会おめでとうございます。
これからも宜しくお願いします。

◆鈴木会員
定時制高校の皆様、本日は楽しみにしております。
齋藤様、キャラバンお疲れさまです。宜しくお願い申し上げます。
西山様、入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しんで下さい。

◆増田(洋)会員
やっと過ごしやすくなってきました。

◆連名スマイル
野口会員・増田(敏)会員・小山会員・伊藤会員
林会員・小松崎会員・山﨑会長・瀧口副会長・石田幹事
定時制高校の皆様、本日のご講演楽しみにしております。
横浜緑ロータリークラブ会長、齋藤光宏様、本日はお越しいただきありがとうございます。
新会員となられた西山浩司様、本日はよろしくお願いします。
皆様、マリーンの例会をお楽しみ下さい！

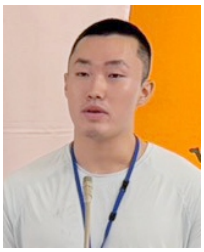
本日のニコニコ	25,000円
累計金額	301,000円

卓　話

「川崎市内定時制高校生による卓話」



演題「コミュニケーション」
神奈川県立川崎高等学校
荒谷孔之輔　様



演題「私達の道」
川崎市立高津高等学校
鈴木瑛斗　様



『私達の道』

川崎市立高津高等学校定時制
鈴木瑛斗

皆さんこんにちは。皆さんは定時制高校と聞いて、どのようなイメージをもたれるでしょうか。全日制に行けなかった人が行く場所、どこか暗くて寂しい場所、もしかしたらそんなネガチィブな印象を持つ方もいるかもしれません。

実は、私自身がそうでした。中学校時代の私は、周囲の目のプレッシャーから仮病を使い学校も休みがちになっていました。なんとか進学した高校でも周囲になじめず、結局、中退という挫折を味わいました。自室に閉じこもり、昼夜が逆転した中で「自分の人生はもう終わってしまったのか。」と暗い闇の中に自分だけがとり残されたような絶望感を抱えていました。すがるような思いで、逃げるようにして、たどり着いたのが、高津高校定時制でした。入る前に抱いていた思い込みは、入学初日に木っ葉微塵に打ち砕かれました。夜の教室に集まっていたのは、年齢も育ってきた環境も、今置かれている事情も全く違う仲間達だったからです。

昼間はコンビニエンスストアーやスーパーマーケット、工場などで汗を流して働き、そのまま制服や作業着でかけつけてくる、一度は社会に出たものの、もう一度学び直したいと強い決意をもって入学してきた、私よりも一周りも二周りも年上の人。そして私と同じように不登校や人間関係の葛藤を抱え、それでも変わりたいと必死に前を向こうとしている同世代の仲間。そこには、全日制高校にはない多様な人生がありました。みんなそれぞれ決して平坦ではない、生きるための理由とドラマを持って、夜の教室の灯りの下に集まっていたのです。昼間に仕事をこなしてから学校に通う生活は楽なものではありません。睡魔と闘いながら、ペンを握る日もあります。

しかし、私達の学校には、どんなに疲れていてもお互いを「頑張っているなぁ。」と認め合い、支え合うあたたかい空気が流れています。そして生徒一人ひとりの複雑な事情にどこまでも寄り添い、決して見捨てずに併走してくれる先生方がいらっしゃいます。教科書の勉強だけでなく、生き方そのものを教えてくださる先生や仲間との出会いが、私の頑なだった心を、少しずつ、確実に溶かしていきました。定時制での日々の中で、私は人生における最も大切なことに気づかされました。それは、「人生における正解は、一つではない。」ということです。私達は、世間一般に言われる「普通のレール」からは、一度外れてしまったのかもしれません。昼間の光を浴びて、３みんなと同じスピードで進むことだけが正しい青春の形だと思い込んでいました。

しかし、それは間違いでした。私達は、それぞれが直面した高い壁を乗り越え、自分の足で、自分の意志で、この場所に立っています。夜の静けさの中で、一歩ずつ、着実に未来に向かって進んでいるのです。ここで流す汗や涙、そして互いの多様性を認め合う優しさは、どこに出しても恥ずかしくない私達の誇りです。遠回りをしたからこそ、見える景色があります。挫折を経験したからこそ、人の痛みに寄り添えるあたたかい心を知りました。

私はこの学校で学ぶうちに、かつての自分のよう「居場所がない。」と苦しんでいる人の支えになりたいという、新しい将来の夢も見つけることができました。

皆さん、もう一度聞きます。定時制高校と聞いてどのようなイメージを持ちますか。定時制高校は、単に遅れた分を取り戻す場ではありません。過去の挫折を明日への希望へ昇華させる最高の再出発地点です。夜に学ぶ私達の心には、未来を照らす確かな光が灯っています。ここで得たかけがえのない仲間、多様な視点、そして逆境に負けない粘り強さを胸に、私はこれからも、自分が信じる道を歩んで行きます。

ご静聴、ありがとうございました。

『コミュニケーション』

神奈川県立川崎高等学校
荒谷孔之輔

私は昔から人と話すことが苦手でした。人と話したくないわけではありません。しかし、人前で話そうとすると言葉に詰まり、自分の意見をうまく伝えられませんでした。そのため、小学校や中学校では人と話すことが少なくなり、やがていじめを受けるようになりました。

ある日、勇気を出して、いじめていた人に「なぜ僕をいじめるの？」と聞きました。返ってきた言葉は、「しゃべれないし、周りと違うし、むかつくから。」でした。その言葉を聞いたとき、悲しさと同時に怒りが込み上げてきました。「ただ話すことが苦手なだけなのに、なぜいじめられなければならないのだろう。」そう思いました。

中学三年生の頃、精神的にも限界を迎え、すべてを投げ出そうと考えました。しかし、そのとき担任の先生や友達、そして両親が僕を支えてくれました。先生は本気でいじめに向き合い、家族はずっと励まし続けてくれました。今でも心から感謝しています。

入学式の前日、不安でいっぱいだった私に父は、「勇気を出して話してみな。お前ならできる。」と声をかけてくれました。その言葉を胸に迎えた入学式は、雨でしたが、私の気持ちは晴れやかでした。高校でも友達を作ることは簡単ではありませんでした。それでも、勇気を出して少しずつ話しかけるようになりました。今でも話すことは得意ではありません。言葉に詰まることもあります。でも、高校に入ってからの僕は、以前とは比べものにならないほど話せるようになりました。その理由は、二つあります。

一つ目は、部活動です。私は三年間バドミントン部で活動し、現在は部長を務めています。人数が少ない中でも部員と協力しながら部をまとめ、部内ルールの作成や改善にも取り組みました。この経験を通して、課題を解決する力や、自分の考えを伝え、人と協力する力を身に付けました。

二つ目は、定時制での学校生活です。定時制は少人数だからこそ、一人ひとりと関わる機会が多く、先生との距離も近い学校です。この学校で、私は本当にさまざまな個性を持った仲間と出会いました。例えば、筋トレを毎日している人もいれば、絵がうまい人、化学が大好きな人など、いろんな人と出会いました。一緒にカラオケに行く仲間とも出会いました。

私にとって、人との「会話」は、新しい自分に出会わせてくれる大切なものです。「話す」ことが楽しいことへと変化しました。高校生活で学んだコミュニケーションの大切さを忘れず、人に優しく、これからも勇気を出して、一歩ずつ前に進んでいきたいと思います。

そして、一・二年生の皆さん。もし今、人と話すことが苦手で悩んでいる人がいたら、「勇気を出して一歩踏み出せば、きっと変わるよ！」こう言ってみてください。この言葉を伝えることができれば、きっとその人は一歩ずつ前に進んでいける、話すことがとても楽しく感じるでしょう。



クラブ会報担当委員：増田　敏雄